

● レクリエーション資格を仕事に活かそう！ ●



保育・幼児教育

子どもの興味を引きつけながら、心と身体の発育・発達に合わせたレクリエーション支援が活かされます。



学校教育

児童と先生、または児童同士での信頼関係を築き、集団づくりやクラス運営を通して主体性や協調性を育むことができます。



高齢者福祉

利用者の生きがいづくりを実現させるため、利用者自身の意欲や自信を引き出すスキルが役立ちます。



スポーツ・レクリエーション

スポーツに慣れ親しんでいない人たちを含め、誰もが継続的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境をクリエイトできます。

● 日本レクリエーション協会について ●

1947（昭和22）年の創立後、1950（昭和25）年に三笠宮崇仁親王殿下を総裁に奉戴し、人材養成事業を通じて輩出したレクリエーション指導者を中心に、幼児保育、幼児教育、学校教育、福祉をはじめ、さまざまな分野において市民と共に地域の活性化を図る活動を多彩に繰り広げてきました。

1993（平成5）年には公益性の高い財団法人に認められる特定公益増進法人として、1998（平成10）年には、国、地方公共団体と同様に紺綬褒章の申請団体として総理府（現・内閣府）より認定されました。2011（平成23）年4月からは内閣府より公益財団法人の認定を受け、国民1人ひとりの生活が豊かに彩られるようレクリエーションの普及・振興に努めています。

「レクぼ」を100%活用しよう！

あそびや動画コンテンツを見ることができるwebサイト「レクぼ」。課程認定校でレクリエーション科目の履修をしている学生が「レクぼ」に学生会員として登録することで、「レクぼ」内のすべての情報を見ることができるようになりました。

登録はこちらから➔



● 私もレクリエーション公認指導者です ●



小林 よしひささん
（よしお兄さん）

NHK E テレ「おかあさんといっしょ」
第11代体操のお兄さん

● 問い合わせ先 ●

レクリエーション公認指導者資格は、日本レクリエーション協会より認定された養成機関・団体にて取得ができます。詳しくは養成機関・団体のご担当者までお問い合わせください。

なお、養成機関・団体の連絡先は日本レクリエーション協会のホームページをご覧ください。



[レクリエーション公認指導者資格のご案内]

仕事に活かせる
スキルを学ぶ



1 知ってましたか？ レクリエーションに資格があること

レクリエーションを単なる「あそび」と思う人がいるかもしれませんが、実は、とても奥が深いのです。例えば、ゲームを通して集団のコミュニケーションが深まったり、歌を歌って一体感が生まれたりすることがあります。それは偶然できることもあります。しかし、「コミュニケーションを深める」「一体感を生む」ことを目的に、**意図的にゲームや歌を活用・展開するのがレクリエーション**です。

対象者と信頼関係を築いたり、集団の興味を引くためには、個人のキャラクターによるものが大きいと思いませんか？ もし、人前でおもしろいことが言えないから指導者には向いていない、体力に自信がないから運動を指導することができない、と考えている人がいたら、ぜひ、レクリエーションを学んでください。レクリエーションの学習では、**信頼関係づくりをはじめ、集団内のコミュニケーションの深め方や、自主的・主体的に取り組む意欲を引き出すスキルなどを学びます。**

こうしたスキルは目に見えません。資格とは、自分が身に付けた知識やスキルを証明するためのものです。だからこそ**レクリエーションにも資格がある**のです。

レクリエーション公認指導者資格の詳細は右記QRコードを読み込んでください。



資格があれば、自分が学んできたことを証明できるんだね。

知識やスキルを身に付けたことを証明するためにレクリエーションにも資格があるんだよ！

2 理論に裏打ちされた 支援技術を体系的に学びます

人が集まった時、緊張をほぐして、お互いにコミュニケーションがとりやすい雰囲気をつくる。レクリエーションの学習では、こうした「**アイスブレイキング**」の方法を身に付けたり、子どもたちや高齢者など、対象者に合わせて「**遊び**」や「**スポーツ**」などの活動をアレンジし、**リードする方法**を学びます。

▶ 主な学習内容

理論	レクリエーション支援の理論 レクリエーションの主旨の理解や支援の目的、レクリエーション活動がもたらす楽しさや、対象者によって異なる心の元気づくりの理解
実技	レクリエーション支援の方法 ホスピタリティやアイスブレイキングの手法の習得、およびレクリエーション活動の習得
演習・実習	指導演習・現場実習 対象者を想定した支援演習と、実際の場面での実習体験

check!



レクリエーション科目の
魅力はこちらから



3 高いコミュニケーション スキルが身に付きます！

ゲームや歌、遊び、スポーツなどを効果的に活用し、「**集団のリード**」「**コミュニケーションの促進**」「**楽しい時間をつくる**」といった、**対象や目的に合わせたレクリエーション活動を企画・展開する力**が身に付きます。

▶ 主なスキル

- ✔ 集団をリードし、一体感を生み出し、楽しい時間を演出する能力
- ✔ 個人や集団のコミュニケーションを促進する力
- ✔ 対象や支援の目的に合わせたプログラムを企画・展開する力
- ✔ 既存のレクリエーション活動を、対象者に合わせたものにアレンジする力
- ✔ 個人の主体性や協調性を引き出す力
- ✔ 現場に応じてレクリエーション活動を企画・運営する力

